

▼企画展・イベントなど

- 開催中～5月12日(日) / 企画展「牧野富太郎物語～ある植物分類学者の生涯」
- 開催中～5月19日(日) / 春のフラワーショー「まぎの花図鑑～博士と草木のドラマをめぐる」
- 4月20日(土) / マキノ・トーク&ミュージックシーン「博士を語る、草木と歌う。」
- 4月20日(土)・21日(日) / えびね展
- 4月24日(水) / 牧野富太郎生誕記念 無料開園「マキノの日」
- 5月18日(土)・19日(日) / ヤマアジサイ展
- 5月23日(木)～26日(日) / さつまつり
- 5月中旬～下旬 / ガンゼキラン大群落の限定公開  
※開催日は開花状況により決定します
- 6月7日(金)～9日(日) / サボテンと多肉植物展
- 6月8日(土)～30日(日) / ガーデンツアー ※期間中の土日

▼教室

- 4月14日(日) / ふむふむ子ども教室
- 4月21日(日) / えびね栽培教室
- 5月11日(土) / 川原園長と薬用植物区を歩こう
- 5月12日(日) / ぐらしの植物教室
- 5月19日(日) / ヤマアジサイ栽培教室
- 6月2日(日) / ハーブの教室
- 6月8日(土) / サボテン・多肉植物の育成講座
- 6月29日(土) / ふむふむワークショップ **当日受付**
- 毎月第2水曜日・第4日曜日 10:00～ / 草花を描く
- 毎月第2水曜日・第4日曜日 13:30～ / ふれあい植物観察会

【教室の申込方法】

当園ホームページの「イベント・植物教室」のなかの植物教室ページ、またはFaxからお申し込みください。入園窓口でも直接お申し込みいただけます。

▼キッズラボプログラム

- 4月6日(土) / 研究者になりきってみよう!
- 4月20日(土) / タネの冒険～つくって知ろう!空とぶタネ～ **幼児対象**
- 4月28日(日) / 大好き!食虫植物～春のモウセンゴケ～
- 5月12日(日) / 大好き!食虫植物～春のモウセンゴケ～
- 6月1日(土) / 染めて学ぼう～青への変身～
- 6月15日(土) / 教えて!園長～薬用植物ってなに?～ **小学校高学年対象**
- 6月23日(日) / 温室の植物にせまる～役立つ樹皮～

【キッズラボプログラムの申込方法】

当園ホームページの「イベント・植物教室」のなかの植物教室ページからお申し込みください。電話、Fax、入園窓口、および当日会場ではお申し込みいただけません。あらかじめご了承ください。

【教室・キッズラボプログラムのお申し込みについて】

- 申込先 ホームページ [www.makino.or.jp](http://www.makino.or.jp)
- 申込開始日 開催前月の第1水曜日 9:00～(先着受付順)

※企画展・イベント・教室等の内容を変更または中止させていただく場合があります。最新情報はホームページでご確認ください。

Information

牧野植物園からのお知らせ

園内のようすをいつでも確認できるようになりました

牧野植物園の南園のようすをいつでも見ることができるようライブカメラを設置しました。当園ホームページのトップ画面にあるオレンジ色のバナーよりご覧いただけます。植物の開花状況の確認などにぜひご活用ください。



Restaurant information

レストランからのお知らせ

レストラン C.L.GARDEN

四万十鶏のもも肉をバジルとアンチョビでマリネしてオープンで丁寧に焼き上げています。皮目はパリッと、中身はジューシーに仕上げ、自家製トマトソースをかけました。付け合わせの春野菜との相性も抜群です。



四万十鶏のココットランチ (サラダ・スープ・ライス付き) 1,750円(税込)

周遊観光バス「MY遊バス」のご案内

- JR高知駅から牧野植物園までMY遊バスで約30分
- MY遊バス乗車券を牧野植物園の窓口で提示で、入園料100円引き
- 料金 / [五台山券 (JR高知駅→竹林寺前)]  
大人(中学生以上)900円 子ども(小学生)450円  
※令和6(2024)年4月1日改定
- MY遊バスに関するお問い合わせ  
運行について / ときでん交通(株) Tel 088-833-7171  
乗車券について / (公財)高知県観光コンベンション協会 Tel 088-823-1434

高知県立牧野植物園 ご利用案内

- [開園時間] 9:00～17:00(最終入園16:30)
- [休園日] 年末年始(12/27～1/1)
- [メンテナンス休園日] 6/24、9/30、11/25、R7/1/27
- [入園料] 一般730円(高校生以下無料)  
団体630円(20名以上)、年間入園券2,930円
- ※身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料

【交通案内】

- はりまや橋から車で約20分
- 高知自動車道「高知IC」から一般道で約20分
- 高知東部自動車道「高知南IC」から約15分
- 高知龍馬空港から高知東部自動車道経由で約25分
- ※道路案内板の「五台山」または「牧野植物園」「竹林寺」を目指してお越しください。

高知県立牧野植物園 友の会 会員募集

- [特典] ※会員ご本人のみの特典です。
- ①窓口で会員カードを提示していただくと、入園料無料。
- ②「牧野植物園だより」(年4回発行)や、催し物案内を定期郵送します。
- ③牧野植物園が主催するイベントや教室に会員価格で参加できます。
- ④会員限定の園内&バックヤードツアーにご参加いただけます。
- ⑤本館のカフェ arbre、ボタニカルショップ nonoca ご利用時にカードを提示していただくと、現金でのお支払い時のみ5%の割引が受けられます。(植物研究交流センター3階のレストラン C.L.GARDEN および牧野ミュージアムショップ サクラでの適用はありません。また一部割引除外品があります。)
- [会費] 普通会员 / 年額 4,000円 賛助会員 / 年額 10,000円
- [お申し込み・お問い合わせ] 088-882-0448 友の会担当まで



牧野植物園ロゴマーク:バイカオウレンの葉

バイカオウレンは、早春に小さな白い花を咲かせます。高知では春一番を告げる花として、牧野富太郎博士が特に好んだといわれています。晩年東京で暮らした牧野博士にとって故郷を思わせる懐かしい植物でした。

高知県立牧野植物園だより No.95 令和6(2024)年3月29日発行

[編集・発行] 公益財団法人 高知県牧野記念財団  
〒781-8125 高知市五台山4200-6 高知県立牧野植物園  
Tel 088-882-2601 Fax 088-882-8635  
[印刷] 有限会社 西村騰写堂

[www.makino.or.jp](http://www.makino.or.jp)  

# 高知県立 牧野植物園だより



マルバマンネングサ [ベンケイソウ科] *Sedum makinoi* Maxim.

本州・四国・九州に分布し、山地の岩場や石垣などに生える多年草。葉は対生し厚みがある。星形の黄色い花は5～7月に咲き、花が開きはじめるころの雄しべの葯は赤い。牧野富太郎博士が、明治18(1885)年に故郷佐川で採集した標本にもとづき、明治21(1888)年にロシアの植物学者マキシモヴィッチ博士がmakinoの名を付け、新種として発表した。

News

## 2024年春のフラワーショー 「まきの花図鑑 ～博士と草木のドラマをめぐる～」

今回で4回目となる春のフラワーショーではこんこん山広場を会場に、植物とともに生きた牧野博士の激動の人生を、春の草花で広場一面に演出します。植物の色彩の変化が感じられる花畑は、牧野博士が妻の壽衛と出会いともに歩んだ人生の軌跡を表現したエリアです。さらに歩を進めた先の芝生広場は、博士の充実した晩年が舞台。植物と家族に囲まれて幸せに過ごした練馬区東大泉の自宅の庭、そして生涯にわたり情熱を注いだ研究の集大成『牧野日本植物図鑑』をそれぞれ植栽で表現します。「高知に植物園を造るなら五台山がええ」という博士の言葉を実感できる、眺望抜群の展望デッキから南園の花景色を眺めながら、博士や植物に思いをはせる春のひと時をごゆっくりとお過ごしください。

(中野善廣、永野英志)

広場を彩る草花は  
今後いっそう華やかに



### 【春のフラワーショー「まきの花図鑑」サイドイベント】

会期中の週末には楽しいイベントが盛りだくさん!

- 原っぱ図書館  
オーテピア図書館がこんこん山広場にやって来る!  
4月7日(日)10:00～15:00
- 音楽演奏  
4月13日(土)、14日(日) ①10:00～ ②13:00～  
会場:こんこん山広場 ステージ(雨天時は展示館 階段広場)  
出演:村上未来、目代美和、澤田真苗(フルート、バイオリン、ピアノ)

### 【牧野富太郎生誕記念 無料開園「マキノの日」】

4月24日(水)9:00～17:00  
春の花々が咲き誇る植物園で、牧野富太郎博士のお誕生日をお祝いしよう! この日だけの特別なガイドツアーや春のフラワーショー「まきの花図鑑」を職員の解説付きでお楽しみいただけるなど楽しいイベントがいっぱいです。

News

## 植物一筋の人生をあらためて浮き彫りに 企画展「牧野富太郎物語～ ある植物分類学者の生涯」開催中

大好評のうちに幕を閉じた連続テレビ小説「らんまん」(NHK)。ドラマの主人公・榎野万太郎(神木隆之介さん)のモデルとなった牧野富太郎博士の生涯を、史実にもとづき浮き彫りにした企画展を5月12日(日)まで開催しています。

第一会場は「富太郎が描いた軌跡」をテーマに、博士が植物研究に捧げた94年の人生を、蔵書や手紙、日記などの貴重な資料を通して紹介しています。「らんまん」に登場したエピソードが随所に散りばめられた会場では、「このエピソードは事実だったの!」と驚かれる声も。史実とドラマを比較しながらお楽しみいただけます。



「絶景かな～、絶景かな～」  
万太郎の家をイメージした部屋

第一会場のようす



第二会場のテーマは「富太郎が描いた植物」。植物図の名手として知られる、博士が描いた精緻な植物図を一堂に展示しています。自ら石版印刷までを手がけた処女作『日本植物志図篇』や渾身の作「大日本植物志」に描かれた植物図は圧巻です。また、「らんまん」の世界にどっぷりと浸れる仕掛けも。万太郎の家をイメージしたコーナーは、部屋にあがってヤマザクラの植物図を見上げ「絶景かな～、絶景かな～」と寝転ぶことができる絶好のフォトスポットです。そのほか、高知県に寄贈された「らんまん」で使用した顕微鏡、野冊などの小道具や、本物そっくりの植物レプリカを展示しています。

ドラマに登場したエピソードを思い出しながら、牧野博士をより身近に感じ、植物一筋の分類学者の生涯にじっくりと触れてみてください。(藤川和美)

News

## 牧野記念財団理事に 俳優 松坂慶子氏が就任

「らんまん」をご縁に3月から活動開始

令和5(2023)年に放送された連続テレビ小説「らんまん」(NHK)において、主人公の榎野万太郎の祖母・榎野タキ役、万太郎と妻・寿恵子の末娘・千鶴役を演じた俳優の松坂慶子氏が、このたび高知県牧野記念財団の理事に就任しました。

松坂氏は、ドラマ収録の以前より当園にたびたび来園される中で、植物のみならず植物園の役割についても強く興味を持たれました。昨年はイギリス・キュー王立植物園などの庭園や研究施設を訪れるなどの見聞を広げられており、現在さまざまなメディアにおいて植物園の魅力、役割について発信されています。これらのご活動から、ぜひ財団理事の立場からご助言いただきたいと願い、今回の就任の運びとなりました。

3月13日(水)の理事会では、「このたびの理事就任は本当に光栄で、牧野植物園と高知とのご縁が続くことをとてもうれしく

理事に就任した  
松坂慶子氏



思う。これから植物について関わることをライフワークにしていきたい。」と、今後の活動の意気込みを語られました。

松坂氏のこれまでの幅広いご活動を通じた新しい視点から理事としてご活躍いただくことで、園の発展に大きく貢献いただけるものと確信しています。松坂氏のお力添えのもと、「らんまん」放送終了後もこの勢いを止めずに、牧野植物園を広く全国に発信し続けて参ります。

(楠瀬佐波)

### 松坂慶子氏プロフィール

東京生まれ。1970年映画デビュー。ドラマ「水中花」で主題歌「愛の水中花」が大ヒット。「男はつらいよ」「蒲田行進曲」や「死の森」(カンヌ国際映画祭グランプリ・国際批評家連盟賞)で日本アカデミー賞最優秀主演女優賞、毎日映画コンクール女優主演賞、ブルーリボン賞など数多くの賞を受賞。2009年紫綬褒章受章。現在公開の松竹映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」に出演中。

News

## 桜の種子寄贈から13年 ハワイにて日本の桜の 栽培指導と講演会を開催

ハワイ在住の日本人や日系人は桜に対して特別な思いを持っていますが、温暖なハワイでは桜は咲かないとされていました。当園は平成23(2011)年、日米桜寄贈100周年事業として、白～淡桃色の花を咲かせる日本の野生の桜の中で最南に分布するオオシマザクラと、温暖な高知県に馴染んでいる「仙台屋」の種子を贈り、ハワイ桜基金の尽力により現地で育てられた苗がオアフ島とハワイ島の約10カ所に植樹されました。筆者は、これらの健康診断および剪定や施肥などの栽培管理指導、そして、当園から送付した種子の苗木を新たにホノルル市郡所管のマノア公園とイリアヒ公園に植樹をするため、ハワイ桜基金からの依頼を受け2月2日(金)から10日(土)にかけて訪米しました。

ハワイ島の標高の高い冷涼な場所に植えられた「仙台屋」は、3m以上に生長して毎年開花し、オアフ島では、オオシマザクラが開花



左から Dale Kobayashi, Stan Masamitsu, Kelvin Sewake, 兒玉良則氏, Augie Tulba, Ann Kobayashi, 川原園長, Joshlyn D.Sand, 筆者, Judi Ann Smith-Kauhane, 武石議員, 畠中議員

した報告が増えており、経過は良好でした。2つの公園では市郡による盛大な植樹式が執り行われ、マノア公園では在ホノルル日本国総領事兒玉良則氏が来賓として参加されました。滞在中に、オオシマザクラが開花したとの報告があり、ハワイの関係者と喜びを共有することができました。

また最終日は、92年前に高知県出身の牧師が高知城を模して建立したマキキ教会にて、牧野博士についての講演会を開催し、約80名の方々に聴講いただきました。牧野博士が愛した桜を通じて、高知とハワイの交流が広がっていくことを期待しています。なお、今回のハワイ訪問では川原信夫園長および高知県議会議員の武石利彦議員、畠中拓馬議員、高知県自然共生課の筒井紀裕チーフが同行し、ハワイ桜基金を通じて交流を深めています。(藤井聖子)

Information

# 南園改修工事がスタート

## 伝統園芸植物の晴れ舞台、生まれ変わる観賞棚

平成29(2017)年に策定された「県立牧野植物園磨き上げ整備基本構想」に基づいた南園の改修工事がはじまりました。この工事は、駐車場の出入口の狭い道路の拡幅、日本伝統園芸植物観賞棚(以下、観賞棚)の建て替え、竹林寺と植物園を繋ぐ交流のエリアの造成を行うものです。

駐車場の出入口は大型車が行き違いできないほど狭く、急坂で見通しが効かないために非常に危険でした。ここを2車線化することにより、安全でスムーズに通行できるようになります。あわせて、無電柱化を行い、景観の向上を図ります。

平成20(2008)年にオープンし伝統園芸植物を紹介してきた観賞棚は、周辺の植栽・展示スペースをこれまでの約2倍に拡大し、より一層、江戸時代に花開いた園芸文化に触れることのできるエリアに生まれ変わります。古くから栽培されてきたツワブキの

完成予想図



園芸品種や枝垂れる特徴を持つアカシデの園芸品種など、これまで以上に伝統園芸植物の植栽を充実させていきます。展示スペースでは桜草や松などの伝統園芸植物を種類毎に、伝統的な設えでご覧いただけるようになります。

また、竹林寺と植物園を繋ぐ交流エリアは、南園の眺望を楽しめる展望スペースや、ヤマザクラ、オウツツジなどを観賞しながらゆっくりと散策できる歩道や、各所にひと休みできるベンチなどを整備します。

工事は、令和8(2026)年早春に完了予定です。工事期間中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。新しい南園にご期待ください。

(山本利彦、上杉翔)

News

# 高知県・愛媛県でギボウシ属の5新種1新亜種を発見

## 牧野博士を育んだ土佐の植生の豊かさを物語る

ギボウシ属(クサスギカズラ科)は、世界で約25の野生種が知られており、そのうち16種が自生する日本はギボウシ属の多様性の中心地です。当園は、矢原徹一九州大学名誉教授の研究チームと協力し、東北大学の陶山佳久教授が開発したMIG-seq法という最先端技術を用いてゲノム(遺伝情報全体)の中の違いを調べ、高知県および愛媛県においてギボウシ属の5新種1新亜種を発見し、国際誌に発表しました。一度に6つの名前の付けられていない植物が発見されたことは、高知県の植物の豊かさを物語っています。ギボウシ属は園芸植物としての価値が高く、新種が発表されれば、自生地から盗掘される恐れがあったため、新種発表前に環境省と連携して保全対策を検討し、高知県固有であるミナヅキギボウシとセトガワギボウシは、種の保存法に基づく緊急指定種に指定されました。本研究は、まさに牧野博士の業績の顕彰であり、認識されないまま消失の可能性がある種が保全されることとなりました。四国に自生するギボウシ属の分類については未解決の課題が残されていますので、今後も多様性解明のため研究を続けたいと思います。

(藤井聖子)



高知県固有の新種ミナヅキギボウシ(緊急指定種)  
*Hosta minazukiflora* Se. Fujii et Yahara



高知県固有の新亜種セトガワギボウシ(緊急指定種)  
*Hosta takiminazukiflora* subsp. *grandis* Se. Fujii et Yahara

News

## 今年度の入園者数が40万人に到達!

賑わいを見せたラン展2日目の2月11日(日)、今年度の入園者数が40万人に到達しました。記念すべき40万人目となったのは、愛媛県西条市・今治市から親子3世代6名で来園された渡部克人さんご一家。中門窓口前のエントランス広場にてセレモニーを行い、当園より記念品として花束や牧野博士に関連したグッズをお贈りしました。「『らんまん』を見て植物に興味を持った」という小学3年生の咲希さんは手づくりの手帳を持参しており、セレモニー後には「牧野博士ゆかりの植物に会うのが楽しみ!」と話し、早速園内を散策。植物や牧野博士について熱心に学びながら、手帳にメモをとる姿が印象的でした。



記念の40万人目となった渡部さんご一家

今年度は入園者数が令和5(2023)年10月27日(金)に、開園以来はじめて30万人に達し、以来4カ月半でさらに10万人の方にご来園いただきました。来年度以降も引き続き、季節ごとの植物園を楽しんでいただけるよう取り組んで参ります。(橋本渉)

Report

## 元 牧野植物園 職員が語る『定年のデザイン』のあとさき

年明け間もない小春日和の1月13日(土)、牧野植物園の元展示デザイナーの里見和彦さんと、同じく元職員で展示解説や教室の運営に携わられた里見由佐さんをお迎えし、マキノ・



里見氏による牧野博士の声真似も大好評を博した

トークシーン Vol.6「定年のデザインのあとさき」を開催しました。平成30(2018)～令和元(2019)年に高知新聞で連載されたエッセイをまとめ、昨年11月に出版された里見さんの著作「定年のデザイン」をテーマとした本イベントでは、執筆の裏話や出版後の反響、お二人が尊敬する牧野富太郎博士について、また、当園での在職時代から現在に至るまで、ユーモアを交えながらさまざまなエピソードを披露していただきました。お二人の人格が伝わる語り口と、背景に映し出された里見さんの味わいあるイラストが相まって、会場は終始温かな雰囲気になりました。参加者の皆さまからは、「楽しかった」「感動した」などの感想や次回を望むご意見とともに、「さらに牧野植物園が好きになった」とのうれしい声を多数いただきました。(岡林里佳)

Info

## 「まきのQRガイド」に おすすめルート機能が追加!



お手持ちのスマートフォンやタブレットで利用できる「まきのQRガイド」のデジタルマップに「おすすめルート」の表示機能を追加しました。

通年でお使いいただける「おすすめルート」には、「正門から中門まで」と「中門から正門まで」の2つのコースを用意しました。ツアーなどで時間の制約がある方は、足早に2時間程度で園地を周遊いただけます。季節限定のコースには、桜の時期(3月～5月上旬)の「桜をめぐるコース」、例年、夏に開催される「夜の植物園」では、昨年も登場した「夜の植物園コース」の一方通行ルートを表示します。また、「車いすやベビーカー通行可能コース」は、階段や石畳などを避け、歩きやすい道を表示します。ぜひ「おすすめルート」機能を使って、ご都合や体力に合わせて植物園を満喫ください。(百田みのり)



マップ左の「おすすめルート」をクリック、ポップアップメニューが表示されますので、お好きなコースをお選びください

Info

## 4月20日(土)、牧野博士 生誕162年を祝う マキノ・トーク&ミュージックシーン開催!

牧野富太郎博士をモデルとした連続テレビ小説「らんまん」(NHK)の放送終了から半年、未だに「らんまんロス」の声もちらほらと聞こえてきます。そこで、当園では「らんまんロス」の皆さまはもちろん、牧野博士ファンの方にもお楽しみいただけるよう、牧野博士の生誕日4月24日(水)に先駆け、プレ・パースデー・イベントを開催します。

「博士と語る、草木と歌う。」と題したこのイベントでは、牧野博士と牧野植物園にゆかりのあるアーティスト、牧野植物園の応援団長でもあるいとうせいこうさんと、牧野植物園でのライブや昨年は牧野博士関連のテレビ番組にも出演された高知県出身の七尾旅人さんが出演。せいこうさんとトークゲストによる牧野博士や植物に関する対談や、七尾さんによるソロステージ、せいこうさんと七尾さんによるセッションで、牧野博士に思いを馳せる特別な夜をお届けします。春の夕暮れ時、草木に囲まれたこちよい空間でとっておきのひとときをお過ごしください。(岡林里佳)



チラシのビジュアルは「ボタニカ」(朝井まかて 著)のイラストを手がけた村上千彩さん

見ごろの  
花だよりVol.46  
Flowers in season

## ムサシアブミ

[サトイモ科]

*Arisaema ringens*  
(Thunb.) Schott園内に咲く  
ムサシアブミの花

環境の変化に巧みに対応する姿にはたくましさを感じます。

3月～4月にかけて園内各所で出合えますが、こんこん山広場から南園へつながる通路沿いで群生するようすをご覧くださいのがおすすめです。また4月にはムサシアブミのほかにも同じ仲間、仏炎苞から焼けた餅が膨らんで飛び出しているかのように見えるユキモチソウや、釣り糸を垂らす浦島太郎を彷彿とさせるウラシマソウが園内で見ごろを迎えます。春に華やかな花を咲かせる植物とは一味違い、異彩を放つその姿。お気に入りの一株をぜひ探してみてください。

(上杉 翔)

※1 花序を包み込むように変形した葉のことで、仏像の光背の炎に見立てたのが由来  
※2 武蔵は旧国名で、現在の東京都、埼玉県、神奈川県の一部にまたがる地域を指す

西日本や東アジアの沿岸地域の湿った林内に生育し、ここ五台山にも自生しています。和名は仏炎苞<sup>ぶつえんぼう</sup>※1を逆さに見ると武蔵国<sup>むさし</sup>※2でつくられた鐙という馬具の形に似ていることが由来です。仏炎苞の色合いは同じ種類の中でも個体差があり、紫色が濃いもの、紫色が薄く緑色が濃いもの、はたまた全体が緑色のものなど、バリエーションは豊かです。光沢がある2枚の大きな葉も印象的で、その堂々たる出で立ちは、さながら武人のようです。

ムサシアブミを含むテンナンショウ属は、栄養状態や成長段階によって株の性(雌雄)が変化するという変わった特徴を持っています。幼株は花をつけず葉のみを展開し、成長するにつれて雄花を咲かせる雄株、雌花を咲かせる雌株へと変化します。一方で栄養状態がよくないと雌株→雄株へと戻る場合もあります。生育

植物の  
「なぜ?」Vol.46  
Plants' Q and A

Q | タケの仲間は開花するとなぜニュースになるの?

A | 開花しているところを見ることが少ないからです。

平成30(2018)年12月に当園でマダケの園芸品種のキンメイチクが開花しました。また、この年の前後には日本各地でほかのタケの仲間も開花し、これらの花の写真が各新聞紙面を賑わせていました。日本でよく見かけるタケの仲間ではモウソウチクは67年ごと、マダケは約120年ごとに花を咲かせることが観察されています。ほかのタケの仲間も花を咲かせる間隔が10年ごと、60年ごとなどさまざまです。このように開花から次の開花までの間隔が人間の寿命を超えるほど長いと、研究者は強い関心を持つものの、なかなか詳しいことがわかっていませんでした。

例えば、タケの仲間は一度花を咲かせると全部枯れるといわれています。約120年ぶりに開花したハチクを継続的に観察したところ、やはり全部枯れたとの報告があります。モウソウチクは各地で小規模に時々開花しており、開花後は枯れています。一方でマダケは地下茎の一部が生き残っており、そこから再び成長し、竹林が再生された、と報告されています。つまり、タケの仲間は開花したからといって、全て枯れることはないということです。

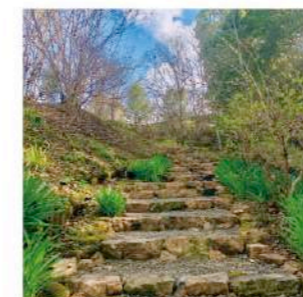
また、種子のできかたにも違いがあります。ハチクやマダケは開花しても発芽できる種子ができません。枯れてしまう種子もできないハチクは、全て枯れる前にマダケのように地下茎から小さな新しい芽を出して枯れてを繰り返して再生していると推測されています。またモウソウチクは、種子がきちんとできて発芽することや開花の周期が栽培により確認されています。開花の周期が違うだけではなく、開花後のようすも種によって異なっていることがわかってきました。タケの仲間の開花を見つけたら、開花の後がどうなるか観察をしてみましょう。

(瀬尾明弘)

雄しべが目立つ  
キンメイチクの花  
(2018年12月19日)



園地のできごと

Vol.46  
The gardening  
section's news芝生広場に隣接する  
階段の改修

新しくなった芝生広場横の階段

展示館北側にある芝生広場に隣接する階段を下ると、和名に「うつぎ」と名の付く植物を集めたエリアがあります。2月中旬、明るい林床ではユキワリイチゲが開花し一足早い春の訪れを感じさせてくれます。新緑が広がる5月にはハンカチノキやウツギの仲間が咲き、7月から9月にかけてはスズカケソウやスズムシバナなどが見ごろを迎えるなど、植物の観察はもちろん野鳥の声を聴きながら四季折々ゆったりと散策できる人気のスポットです。

平成11(1999)年の牧野富太郎記念館建設工事に伴い整備された、このエリアの丸太を使用した階段では、経年劣化が進み歩きにくくなっていました。今回、この階段を安全かつ園地の景観とつながりが得られるように、五台山の山石(チャート)を用いて作り直しました。これらの山石は、園内外の各所で広く利用されており、改修の結果、近くを通る遍路道とも調和し安全に散策できるようになりました。

新しくなったこの場所にぜひ足を運んでいただければと思います。(大沼喜人)

身近な植物を  
知るVol.49  
Plants close to us

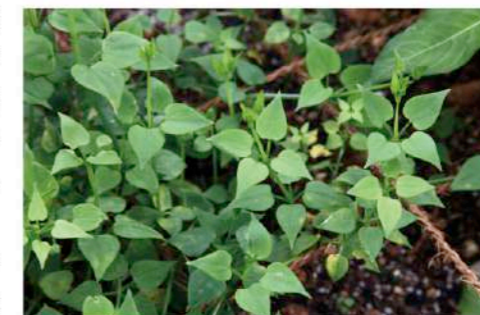
## アカネ

[アカネ科]

*Rubia argyi* (H.Lév. et Vaniot) H.Hara ex  
Lauener et D.K.Ferguson

写真のような葉を見たことはありませんか?これは古くより根が薬用や染料として利用されてきたアカネの葉です。つる性の多年草で、日本では本州・四国・九州に自生しています。

触ってみると茎は四角く、節には可愛らしいハート形の葉を4枚輪生しますが、このうち2枚は托葉(葉のもとにできる葉状やとげ状などの付属物)が変化したものです。また茎には下向き小さなとげがあり、ほかの植物に絡まりながら伸びていき、夏には淡黄色の目立たない小さな花をたくさん咲かせます。アカネの根にはプルプリンやムンジスチンといった成分が含まれ、古くから染料や薬用として使われてきました。現在では、全国的に数を減らし、その根は希少価値の高いものとなっていることから、アカネの保存や栽培に取り組む団体もできています。近い将来、身近な植物から希少な植物になってしまうのかもしれない。(末岡昭宣)



薬用植物区のアカネ

## Staff's recommendation

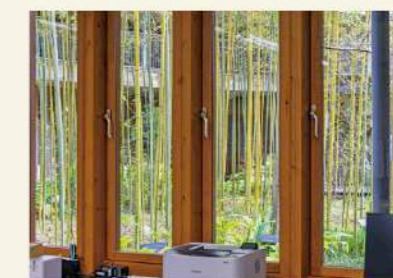
スタッフに聞く!  
植物園の見どころ Vol.49植物研究課  
松田史乃のおすすめ標本庫からの  
中庭の眺め

本館ウッドデッキの真ん中にタイワンマダケが伸びている中庭があります。この中庭の植物にはウッドデッキからのぞき込んでわかるように上向きに名札が付けられていますが、階下の図書室に行くと一面ガラス張りの向こうに中庭を見ることができ、上から眺めるのとでは違った景色を楽しむことができます。

そして、じつはもう1カ所この中庭の景色が見られる場所があります。それは標本庫です。標本庫から見る中庭は図書室からの景色とは一味違った趣があります。

標本庫での仕事は下を向いての作業が大半。そんな時、標本を貼りながらふと顔を上げた時に見える中庭は、やさしい光に包まれ、風にそよぎ、時には雨にぬれて青く輝き、私の心を癒してくれます。伸びやかに成長している植物を見て、手元の標本に目を戻すと、改めて植物の命や標本の大切さに気がきます。

標本庫は通常、お客様は立ち入りできませんが、牧野博士の誕生日4月24日はツアー参加者のみ特別に見学することができます。この機会に標本庫の役割の大切さを学びながら、そこから見える中庭の景色も一緒に楽しんでいただければと思います。



標本庫から眺める中庭の風景